

ナガバノイタチシダ

Dryopteris sparsa (Hamilt.ex D.Don) O.Ktze.

オシダ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由 生育地がごく稀で、個体数が少ない。(現況:RO)

形態 根茎は斜上し葉を叢生する。葉は2回羽状複生から3回羽状深裂する。鮮緑色でやや大型、葉身の上部は急に狭くなり尖鋭頭になる。

国内分布 本州、四国、九州、沖縄。

県内分布 内浦区、南加賀区。

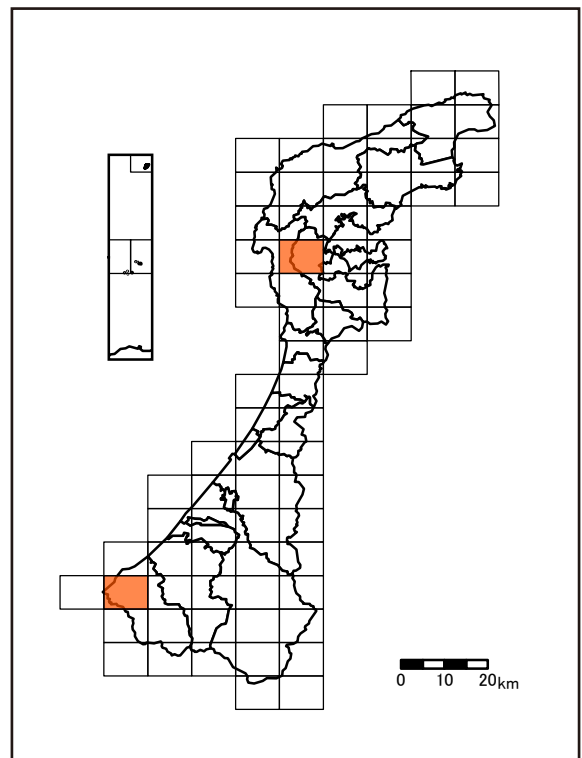
生態など 常緑性の地表植物で根茎から葉を叢生する。繁殖は孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境 ヤブツバキクラス域の林内地上の陰湿な場所に生育する。

危険要因 森林伐採、動物食害、産地局限。



小野ふみゑ・2008年2月11日・七尾市



県内の分布